



国際物流管理士資格認定講座 について

(公社) 日本ロジスティクスシステム協会 (JILS)

国際物流管理士資格認定講座 担当 中川綾子

目次：

1. 講座の概要
2. 2026年度開催概要
3. 受講者の声・資格取得者の声
4. オンライン+集合開催の特色
5. 講義イメージ
6. 資格認定について
7. (お願い) 受講者環境の整備
8. お問い合わせ先

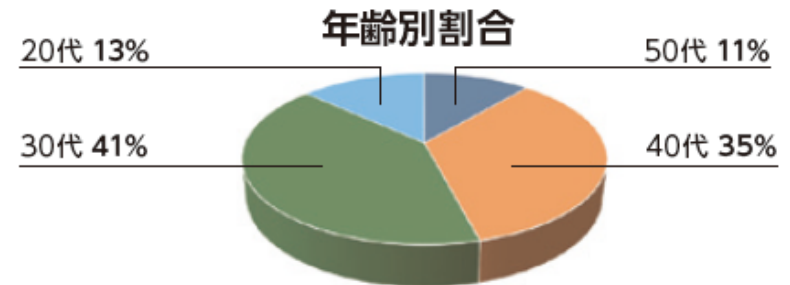
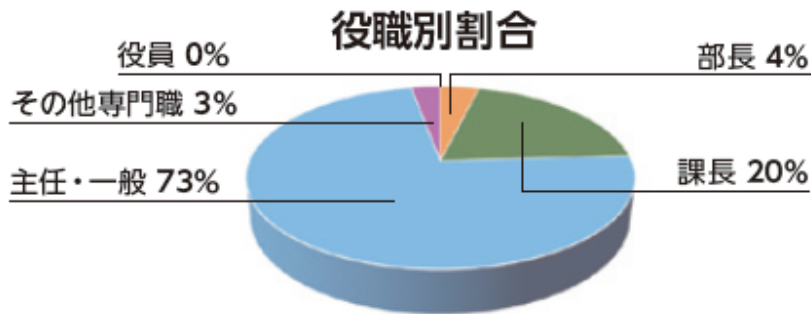
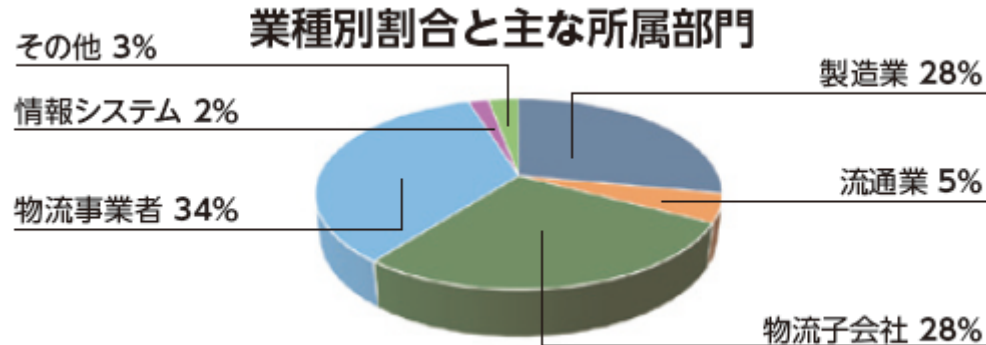
1. 講座の概要

本講座は、わが国唯一の国際物流のスペシャリスト育成講座として、1979年の開講以来、1,702名の「国際物流管理士」を輩出しています。

項目	概要
名称	国際物流管理士資格認定講座
対象	国際物流のスペシャリストを志向する方、 国際物流に携わる中堅管理者・担当者
講座 の 特徴	国際物流の第一線で活躍している実務家やコンサルタント、学識経験者からなる講師陣から、国際物流のスペシャリストに必要な専門知識やマネジメント技術を体系的かつ総合的に学ぶことができます。
資格	講座を修了し、所定の試験に合格した方には、 「国際物流管理士」の資格を授与します。
日程	2026年9月～2027年3月（全9単元・18日間）
受講料 (税込)	JILS会員：484,000円、会員外：605,000円 ※有資格者割引有 ■単元聴講も可能です。（第1・9単元を除く）※単元価格の設定あり
後援（申請 中）	経済産業省・国土交通省

1. 講座の概要（受講者の属性）

本講座は、国際物流に携わる様々な立場の方が受講しています。交流を通じて、国際物流の多様性を理解することができます。



2. 2026年開催概要（講座の体系）

「国際物流管理士資格認定講座」では、国際物流をリードする人材に必要な知識を体系立てて学びます。

第48期国際物流管理士資格認定講座カリキュラム

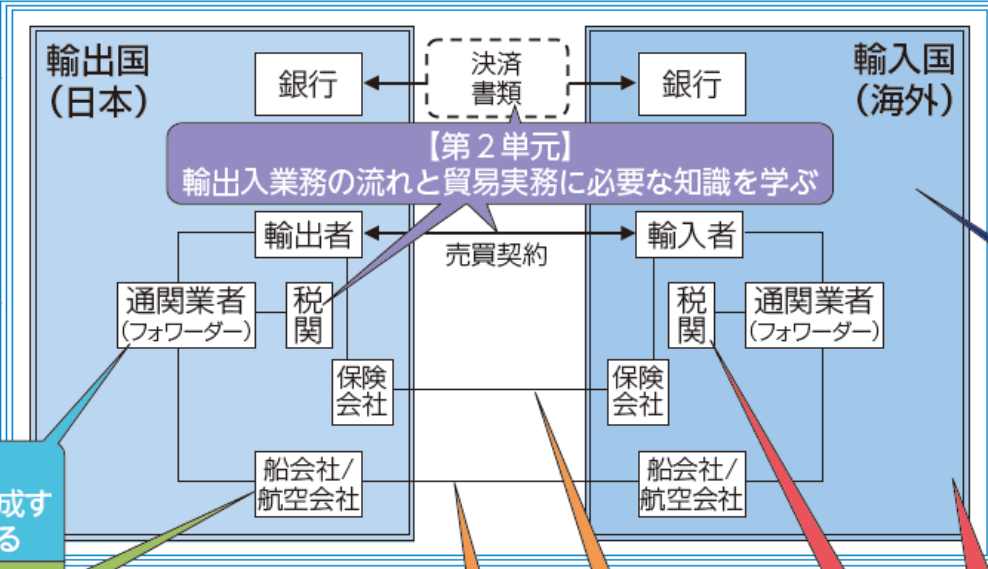
「国際物流の領域」と各単元の位置づけ（日本からの輸出の例）

【第1単元】
グローバルロジスティクスの
アウトラインを
捉える

【第9単元】
あるべき姿に
到達するための
実践力を身に
つける

【第3単元】
国際物流の根幹を成す
海上輸送を理解する

【第4単元】
航空輸送の仕組みと
ポイントを理解する



【第6単元】
国際物流のリスクを理解し、
対処する方策を学ぶ

【第8単元】
グローバル企業が直面した
課題と解決方法を学ぶ

【第5単元】 グローバルサプライチェーンの
可視化と最適化の手法を学ぶ

【第7単元】
海外の最新物流環境を学ぶ

2. 2026年開催概要

会場 JILS研修室(東京都港区)

第1単元

グローバルロジスティクスのアウトラインを捉える

国際物流から、ロジスティクス、サプライチェーンへの展開を学び、次単元以降の講義を理解するための基盤を作る。またグループ討議を通じて、課題解決への実践的な考え方を学び、受講者間で交流し、多様な立場、役割の理解とヒューマンネットワークの形成を図る。

(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2026年 9月9日(水)	9:30~ 9:45	開講式		
	9:45~10:00	講座オリエンテーション	修了要件・認定要件・レポート等、本講座の規程に関する説明をします。	事務局
	10:00~10:20	前期総代による講演	講座を受講するにあたってのポイント、体験談やアドバイス	本橋 佳樹 (株)イトーヨーカ堂 海外部
	10:30~12:00	国際物流とロジスティクス	物流とロジスティクス、国内と国際の違い、国際物流の形態の変化、マーケティングと物流、国際物流・ロジスティクスのリーダーに求められる知識・能力とは	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究所 教授 (大学院物流情報学研究所長)
	13:00~17:00	グループ討議 国際物流の現状・自社の課題認識と解決の考え方	グローバルサプライチェーンを理解し、国際物流の現状や自社の課題をグループで共有し、原因の分析や解決に向けた取り組みについてグループで討議します。	林 克彦 流通経済大学 流通情報学部 大学院 物流情報学研究所 教授 (大学院物流情報学研究所長)
	17:15~19:00	キックオフミーティング (交流会)	受講生間での交流の機会	

9/10 会場 JILS研修室(東京都港区) 9/15-16 オンライン開催

第2単元

輸出入業務の流れと貿易実務に必要な知識を学ぶ

国際物流の業務に携わるうえで、輸出入業務に関わる通関、条約、インコタームズ、決済、外国為替、国際ファイナンス等事項の理解、習得は不可欠である。本単元では、貿易取引のデジタル化 (Fintech) 等の最新動向を盛り込みながら、輸出入業務について、基礎からわかりやすく解説する。

(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
9月10日(木)	9:30~17:00	貿易取引の全体像・基礎知識、貿易売買契約と各種決済方法、外国為替とリスクヘッジ、国際ファイナンス	貿易取引の全体像・基礎知識、貿易取引の流れ、信用状統一規則、銀行の外国為替業務、輸出入取引の流れと留意すべきポイント、リスクヘッジ	井上 泰伸 日本貿易学会 会員 / 神奈川大学 経済学部 非常勤講師
9月15日(火)	9:30~12:30	輸出入における通関業務と保税手続き、通関システム、AEO制度	輸出入通関について、関係法令について、三国間貿易について、輸入貨物の課税価格の決定、確認のポイント、保税制度、非違事例、AEO制度の概要、経済安全保障	桜井 正広 (株)日新 通関部 部長
	13:30~15:00	インコタームズ、ウィーン売買条約	トレードタームズ(定型取引条件)とは、インコタームズ2020の概要、ウィーン売買条約のポイント	田口 尚志 早稲田大学 商学学術院 商学部 教授
	15:10~17:10	FTAとEPA、原産地規則	FTAとEPAとは、EPAのメリット、わが国が締結しているFTA/EPA、原産地規則の概要・適用税率、適用の条件	中岡 真紀 法政大学比較経済研究所兼任研究員 貿易アドバイザー
9月16日(水)	9:30~12:00	海外コンプライアンス、貿易電子化、貿易取引のデジタル化 (FinTech)	海外コンプライアンス(SWIFT排除、資産凍結など経済制裁)の構造・リスク、貿易取引のデジタル化におけるFinTech(ブロックチェーン技術)の活用	花木 正孝 近畿大学 経営学部 大学院 商学研究科 教授
	13:00~16:00	グローバル生産を支えるロジスティクス	海外生産を行う顧客企業の要望に応えるために、国際物流企業はどのような知見が必要かを事例を交え、一緒に考えます。	山内 秀樹 国際物流コンサルタント / 早稲田大学 非常勤講師
レポート提出日			2026年9月30日(水) 13:00まで	

2. 2026年開催概要

オンライン開催

第3 単元

国際物流の根幹を成す海上輸送を理解する

海上貨物輸送は、全世界における貿易の約9割（重量基準）を占めており、国際物流を進めるうえで、その理解は不可欠である。本単元では、国際海上貨物輸送産業の概論から輸送技術、主たるプレイヤーの役割、フォワーダーのデジタル化事例を解説する。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2026年 10月6日(火)	9:30~12:30	国際海上貨物輸送概論	国際海運業の概要、コンテナ貨物の荷動きとコンテナ航路網、船隻増船と運賃状況、アライアンス変化、物流チェーンポイントと紅毛船、共同海損、環境対応と Digitalization	原 源太郎 日本郵船(株) 調査グループ グループ長代理
	13:30~15:00	海上コンテナ輸送の仕組み、技術に関して	国際物流に用いる海上コンテナの概要（種類、サイズ、特徴）、取り扱いにおける注意点について（ドレイ、リーフアー）	浅井 正敏 オーシャンネットワークエクスプレシジョン(株) CP本部 SYM部 M&R課
	15:10~17:10	海上運送における特殊貨物(危険物) 概論	危険物海上輸送の基礎知識（クラス、容器等級・試験方法と判定基準等）、容器包装、運送手続き（表示方法・運送書類への記載事項等）、運送方法	細川 満帆 (一社)日本海事検定協会 安全技術室 課長
10月7日(水)	9:30~12:00	フォワーダーと NVOCC、国際複合輸送	フォワーダーと NVOCC の違い、国際複合輸送ルートの特徴と留意点、輸入フォワーディング業務の流れ、仲介業務、運賃	大森 重和 (株)日新 海上貨物部 部長
	13:00~15:00	海上個品運送契約 / 船荷証券 / Sea Waybill / 複合運送証券	運送契約、船荷証券、電子船荷証券、海上運送状、船荷証券統一契約、Japan COGSA の概要、船荷証券約款、複合運送証券	津田 勝也 弁護士法人岡部・山口法律事務所 弁護士
	15:10~17:10	フォワーダーのデジタル化動向	グローバルで進んでいるフォワーダーのデジタル化動向を踏まえつつ、デジタルフォワーディングとは何かを解説します。	川島 章義 (株)Shippo エバンジェリスト
	17:10~17:15	第5単元グループ討議 事前準備レポート出題	第5単元のグループ討議の事前準備レポートについて、事務局よりテーマ等の説明をします。	事務局
レポート提出日		2026年10月		

オンライン開催

第4 単元

航空輸送の仕組みとポイントを理解する

商品ライフサイクルの短縮化やグローバルにおける在庫の最小化への対応を進めるうえで、航空貨物輸送の果たすべき役割は大きい。本単元では、航空産業、航空貨物輸送市場の概要、最新動向を解説するとともに、航空輸送の仕組みとそのポイントを解説する。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月13日(火)	9:30~12:00	航空産業概論、航空貨物輸送概論、航空協定	航空輸送の現状、市場、航空輸送の仕組み（メリット・種類・業務フロー等）と輸送環境	(株)ANA Cargo
	13:00~17:00	航空運送約款と航空運送状、航空貨物運賃	航空輸送に関わる条約・約款、運賃の算出方法・Chargeable Weight の決定方法	
レポート提出日		2026年10月27日(火) 13:00まで		

現地 見学会

国際物流の最前線を、見学して感じる

国際の物流施設等を見学することで、輸送機関の特徴や、国際物流における現場、オペレーションに関する理解を深める。

(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月	午後	現地見学 / 大井ふ頭 コンテナターミナル	大井コンテナふ頭（東京港コンテナターミナル）を見学します。	日本郵船(株)
10月28日(水)	13:30~15:30	オンライン見学 / 成田空港 貨物ハンドリング施設	航空貨物のハンドリングをオンラインで見学します。	(株)ANA Cargo

*10月のコンテナターミナル見学は、集合開催です。(集合場所：品川駅(東京都港区)(予定))

2. 2026年開催概要

10/14 オンライン開催 11/4-5 会場 JILS研修室(東京都港区)

第5単元

グローバルサプライチェーンの可視化と最適化の手法を学ぶ

物流・ロジスティクスの高度化を考えるうえで、在庫管理やSCM、3PLは、重要なテーマである。本単元では、それらの理論とともに実例を交えて解説する。また、設定したケースに基づくグループ討議・発表に取り組みすることで、情報収集・整理の仕方や、グループでの企画・提案力を身に付ける。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
10月14日(水)	9:30~12:30	国際物流におけるコストとKPIの算定と既存業務プロセスの見直し	KPIに必要な要素、「現地化」とロジスティクスの転換事例、プラットフォーム戦略、業務プロセス改革担当者の条件、グローバル・ロジスティクスミックス	橋本 雅隆 明治大学 名誉教授
	13:30~17:00	サプライチェーン・マネジメント(SCM)の基礎とその最適化 グローバルサプライチェーンの各種改善手法~SCMのベスト・プラクティス~	SCMとは? SCMの重要性、SCM最適化のための改善方法、SCM最適化事例を紹介します。 SCMを最適に行うための代表的なベスト・プラクティス(ある結果を得るのに最も効率の良い技法、手法、プロセス、活動などのこと)を知る	石垣 嘉文 フォーティエンスコンサルティング(株)CS事業部SCMチームプリンシパル
11月4日(水)	9:30~12:20	3PL概論	3PLとは、日本と海外の3PLの現状、なぜ3PLなのか、3PL化で注意すべき点・必要なこと、国際物流の3PL化	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株)顧問
	13:20~14:50	国際物流における3PL導入事例	荷主から見る3PL戦略の策定要素・選定基準・審査イメージ、グローバル企業での3PLの選定事例	田中 秀憲 グイナリ(株)ロジスティクスディレクター
	15:00~17:00	国際物流における3PLの実践事例	3PLの考え方、国際物流における事例、荷主の課題解決支援プロセス、今後の輸送サービスの展望	尾上 清 日本通運(株)モビリティセールス部 顧問
11月5日(木)	9:30~17:00	グループ討議	設定されたいくつかのケースに基づき、事前準備レポートでの考察を踏まえつつ、グループ内で解決に向けた方策を検討し、全体発表を行います。	中谷 祐治 ロジ・ソリューション(株)顧問
レポート提出日		2026年11月19日(金) 13:00まで		

オンライン開催

第6単元

国際物流のリスクを理解し、対処する方策を学ぶ

企業活動におけるリスクマネジメントの重要性はますます高まっている。本単元では、国際物流におけるリスクの概要と、特に重要となる貨物事故防止対策、並びに貿易貨物保険とクレーム手続のポイントについて解説する。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
11月12日(木)	9:30~12:30	国際物流のロスプリベンション	現場から見た国際物流クレームの現状とロスプリベンション検討の実例	能勢 正貴 (一社)日本海事検定協会 千葉事業所 部長
	13:30~17:00	貿易貨物保険とクレームの実務	外航貨物海上保険の特色、貨物海上契約について(約款の説明)、貨物海上保険におけるリスクの判定と保険料率の算定、クレーム手続き	板谷 俊毅 東京海上日動火災保険(株)航空海上業務部 貨物業務グループマネージャー
11月13日(金)	9:30~12:30	リスクマネジメント・BCP概論	物流に関わるリスクとは、リスクマネジメントとは、基本的な進め方(リスク特定・分析・評価)と留意点、企業の取り組み事例、BCP概論	田代 邦幸 (同)Office SRC 代表
	13:30~17:00	国際物流におけるリスクマネジメント事情、リスクマネジメント・ワークショップ	昨今のリスク事象、リスクアセスメントとリスクマネジメントの考え方、グローバル企業におけるリスクマネジメント活動、リスクマネジメントワークショップ	原 敬徳 SOMPO リスクマネジメント(株) 取締役執行役員 首席コンサルタント
レポート提出日		2026年11月27日(金) 13:00まで		

2. 2026年開催概要

オンライン開催

第7単元

海外の最新物流環境を学ぶ

物流コストを削減しつつ、高品質な国際物流を構築するためには、海外の物流状況を把握することが不可欠である。本単元では、各地域における物流インフラ、通関等の物流事情について、最新事情を盛り込みながら解説する。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
12月9日(水)	9:30~12:00	米国の最新物流事情	米国貨物輸送の概観、物流にとって重要な都市と物流システムの展開、米国の輸出入制度	田阪 幹雄 (株)NX総合研究所 リサーチフェロー
	13:00~15:00	インドの文化・物流実態	インドの物流について同様の人口を擁する中国の物流と比較しながら、インドの経済成長と物流がどのような関係になっていくかを説明し、インドに進出する際の検討すべきポイントを解説します。	樋口 恵一 川崎陸送(株) 代表取締役社長
	15:10~17:10	欧州の最新物流事情	欧州における物流事業の取り組み事例、EUの概要と日本との関係、各国のインフラ事情(航空・海上)、地域別の物流事情	藤田 美樹 ライトコンサルティング 代表
12月10日(木)	9:30~12:00	中国の最新物流事情	中国経済と物流事情、中国物流の変遷、中国物流の難しさ、保税制度の重要性、関連規制の説明、事例の紹介	栗田 幸武 (株)アルプス物流 常務執行役員
	13:00~15:00	ASEANの最新物流事情	日本・ASEANを取り巻く現状、ASEAN新興国が注目される理由、ASEAN域内の産業別動向(コールドチェーン等)、ASEANの今後	松田 邦敬 日本通運(株) フォワーディングビジネスイニシアティブ 国際海運統括部
	15:10~17:10	中国の国内およびASEANへの物流戦略	中国における国内の物流政策の動向と、一帯一路戦略の今後や、インド、台湾、アセアンとの国際物流政策について	町田 一兵

オンライン開催

第8単元

グローバル企業が直面した課題と解決方法を学ぶ

経済成長が著しい中国や東南アジア等の新興国では、現地における物流拠点の構築・マネジメントの重要性がますます高まっている。本単元では、これらの取り組みを進めるうえでのポイントについて解説する。また、駐在経験者による座談会を通じて、受講者のグローバル意識を高める。
(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2027年 1月13日(水)	9:30~12:00	SCMの視点から取り組む海外現地における改善活動 海外駐在における駐在員の役割と心得	各地で直面していた物流課題と解決に向けた取り組みの紹介、SCM・ロジスティクス管理のあり方・業務診断のチェックポイント 駐在員の役割(簡単な財務分析手法、物流管理のあり方)、海外駐在員が遭遇しやすいリスク(私生活・仕事)への対応	魚住 和宏 SCMソリューションデザイン 代表
	13:00~15:00	グローバルサプライチェーンとテクノロジートレンド	EC市場の成長や、デジタル化、労働力不足、サステナビリティという文脈のなかで、倉庫の自動化等における最新テクノロジー活用の取組みについて解説します。	武田 一哉 Ryoma サプライチェーンパートナーズ(株) 代表取締役社長
	15:10~17:10	世界で戦う外食チェーンのサプライチェーン戦略	単なるコスト削減から利益を生み出す「バリューセンター」へ。情報・物・お金を統合し「全体最適」を実現するサプライチェーン戦略について、グローバル外食チェーンの実例を共有します。	梶野 透 早稲田大学 グローバル生産・物流コラボレート研究所 招聘研究員 (株)トリドールホールディングス グローバルSCM本部 本部長代行
1月14日(木)	9:30~10:30	客観試験	第2~6単元までの各講義内容から出題	事務局
	10:50~12:40	駐在経験者による座談会	海外駐在経験者による現地での経験(気づき、現地経営の工夫)やキャリアに関する生の声を聞き、全体討論を行うことで、国際物流のスペシャリストとしてグローバル意識を高める機会とします。	桜井 正広 (株)日新 通関部 部長 北崎 淳 NXアメリカ(株) ロサンゼルス支店 アカウントセールス部 課長/ 国際物流管理士 藤原 政治 三栄工業(株) FA本部 本部長
	13:40~15:30	アパレル産業のグローバルサプライチェーン構築における物流サステナビリティへの要請	アパレル産業におけるグローバルサプライチェーンについて	山内 秀樹 国際物流コンサルタント
	15:40~17:10	自動車のグローバルサプライチェーン	自動車のグローバルサプライチェーンについて	中村 吉明 専修大学 経済学部 教授

2. 2026年開催概要

会場 JILS研修室(東京都港区)

第9 単元

あるべき姿に到達するための実践力を身につける

グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに据えたケーススタディにグループで取り組む。サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題抽出方策や改革・改善技法を学ぶ。

(敬称略・2026年5月現在)

日程	時間	講義テーマ	講義内容	講師
2月3日(水) 2月4日(木)	9:30~17:00	ケーススタディ 「グローバルロジスティクス改革」	グローバルな事業展開を行っている企業のロジスティクス改革をテーマに、サプライチェーンマップ分析や在庫分析等、SCMの視点に立った課題、抽出方策や改革・改善技法をグループ討議を通じて学びます。	魚住 和宏 SCMソリューションデザイン 代表

JILS 研修室 (東京)

資格認定証授与式

当講座の修了基準を全て満たした受講者には、「国際物流管理士 (International Logistics Master)」の資格を授与する (累計取得者数: 1,702名、2026年5月現在)。

日程	時間	講師
3月12日(金)	16:00~17:00	委員長、副委員長

※資格認定証授与式は、JILS研修室で実施予定です。

3. 受講者の声

本講座は、企業の国際物流をリードする実務家が集い、基礎から応用までを体系的に学びながら、人的交流を深める研鑽の場として活用されています。

受講者の声（抜粋・一部編集）

衣料品・住居品・食料品を提供する小売業として、1920年の創業以来、「信頼と誠実」の精神のもと、よりよい商品の提供に努めています。私の所属する海外部では、自社およびグループ関連会社の店舗に並ぶ商品や原料の一部を、海外工場から直接輸入し、国内の共配センターへ納品するまでの貿易実務を担っています。

国際物流を取り巻く環境が大きく変化する中で、最新の動向や仕組みを理解し、自社の業務改善や効率化に活かしたいと考え、国際物流を基礎から応用まで総合的に学べる本講座に魅力を感じて受講しました。

本講座では、国際物流の経験豊富な講師陣による講義を通じて、理論と実務の双方から、最新動向を含めた国際物流の知識を体系的に学ぶことができました。実務経験に裏打ちされた講義内容は、市販のテキストでは得られない深い気づきを与えてくれ、講義を重ねる中で「国際物流」の奥深さと業務領域の広さを改めて実感しました。

また、業種・業態、年齢、役職の異なる受講者と顔を突き合わせて行ったディスカッションは非常に印象深く、同じ課題であっても多様な視点から意見が交わされることで、考え方が大きく広がりました。

本講座で得た知識と視点を糧に、持続可能な国際物流・サプライチェーンの構築に貢献できる国際物流のプロフェッショナルを目指してまいります。

株式会社イトーヨーカ堂 本橋 佳樹

3. 資格取得者の声

本講座は、企業の国際物流をリードする実務家が集い、基礎から応用までを体系的に学びながら、人的交流を深める研鑽の場として活用されています。
https://www1.logistics.or.jp/overview/pass_voice/

日本ロジスティクスシステム協会では、物流のプロフェッショナルを育成する資格認定講座を開催しています。資格認定講座でどのようなことを学び、その後、実務に生かされているのか、資格取得者のインタビューにてご紹介します。



株式会社OCS

国際物流の全体像を学び「奥深さ」を実感。
サプライチェーンの重要性も認識新たに

国際物流管理士資格認定講座



アサヒロジ株式会社

「学び直し」「アップデート」で視座を高め
る、多様な「仲間」との貴重な出会いに感謝

国際物流管理士資格認定講座

4. 「オンライン+集合」開催の特色

「オンライン+集合」開催とします。
講義はオンライン、演習指導は集合開催です。

運営事務局が常駐し、円滑な受講や人脈形成をサポート対応いたします。

【オンライン研修】

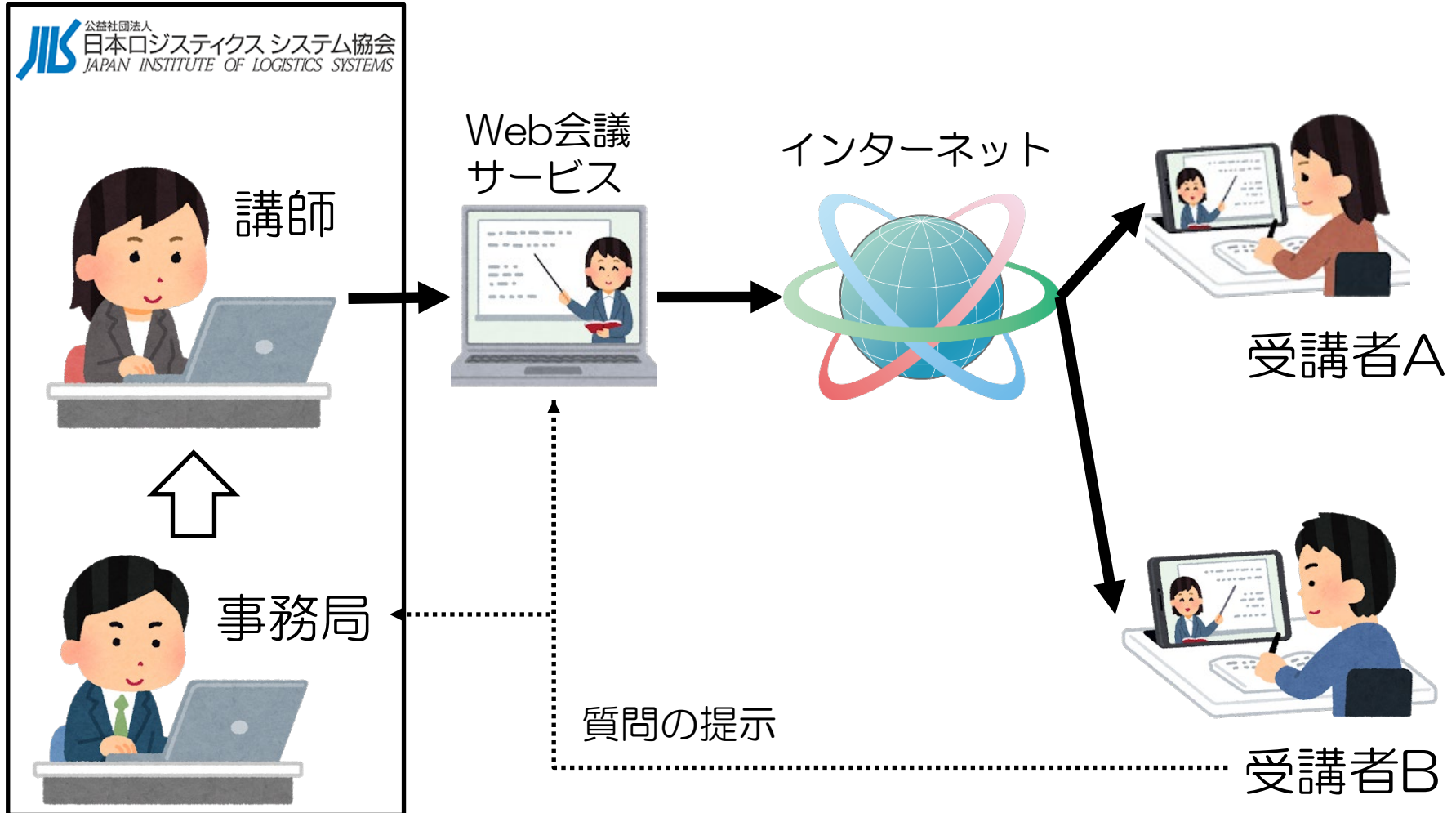
- ・ オンラインでは、**会場やオフィス以外からの場所（テレワーク中の自宅等）から受講**することができます。また会期中に異動された場合でも受講を継続しやすくなります。
- ・ 講義の双方向性に留意し、その場の質問やコメントを受講者間で共有することで、新たな気づき、受講者が主体的に講義に参加できる環境を整備します。

【集合研修】

演習指導・グループワークは、JILS研修室（東京都海岸1-15-1）で開催します。経験豊富な講師による指導を受け、5名ほどのグループで議論いただきますが、発表・質疑を通じて学びと交流を深めます。

5. 講義イメージ（オンライン）

Web会議サービスを通じて、講義内容をライブ配信します。
受講者からの質問は、チャット（文字入力）等で受け付けます。



5. 講義イメージ（集合）

グループ討議を行い、各グループが全体へ成果を発表します。
他グループとの質疑応答や講師からの講評を通じて、国際物流に関する知見をさらに深めていきます。



グループ討議



全体発表

6. 資格認定について（1）

講座を修了し、合格基準を満たすと、日本ロジスティクスシステム協会（JILS）より、「国際物流管理士」の資格を授与します。

【参考：JILSの資格認定制度】

	名称	概要
階層別	ロジスティクス経営士	経営の視点からロジスティクスを捉え、改革を推進することができるCLO（Chief Logistics Officer）
	物流技術管理士	物流・ロジスティクスの専門知識や管理技術を有し、物流品質向上、物流効率化、コストダウン等を実現できるロジスティクスのプロフェッショナル
	物流技術管理士補	物流・ロジスティクスに関わる基礎知識を有し、実務への応用の仕方を習得している次世代のロジスティクス・プロフェッショナル
テーマ別	国際物流管理士	国際物流の専門知識を有し、グローバルレベルで全体最適を志向し、幅広い視点で新たな事業やサービスを企画し、実践することができる国際物流のプロフェッショナル
	物流現場改善士	物流現場の現状を把握し、課題を解決するために定量データをもとに改善実行計画を立案し、メンバーと協力しながら改善を推進することができる物流現場の改善リーダー

6. 資格認定について（2）

4つの【修了基準】を満たしたうえで、2つの【合格基準】を満たすことを目標として、講座受講を進めて頂きます。

【修了基準】 1) ~ 4) 全てを満たすこと

- 1) 14日以上出席
- 2) 客観試験の受験
- 3) レポート試験（5回）の受験
- 4) 第9単元（ケーススタディ）の出席（2日間）

【合格基準】 1) ~ 2) いずれも満たすこと

- 1) 客観試験及び各レポート試験が70点以上
- 2) （欠席減点を加味した）総平均点が70点以上



7. (お願い) 受講者環境の整備

受講にあたってはインターネットを利用できる環境をご用意ください。
Web会議サービスは、「Zoomミーティング」を利用します。

項目	概要
受講環境整備 (受講環境)	講義に集中できる物理的環境（会議室、在宅勤務等）の確保をお願いします。
受講環境整備 (ハードウェア)	<ul style="list-style-type: none"> パソコン、マイク、イヤホン、Webカメラ、インターネット環境 <u>※グループ討議等では、マイク、Webカメラを利用します。</u> <u>※通常の講義でもWebカメラONを励行します。</u>
受講環境整備 (ソフトウェア)	<ul style="list-style-type: none"> Zoomクライアントのインストール MS-Office（パワーポイント、エクセル、ワード） ※MS-Officeは、グループ討議（発表資料作成）で利用します。
禁止事項	<p>資格認定講座の受講は、受講者当人に限定します。</p> <p>※配信コンテンツ、電子テキストの閲覧は受講者当人のみとしてください。</p> <p>※代理出席は認めていません。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> 講座運営は、講座パンフレットに準拠して行います。 「受講規約（「JILSオンライン研修受講にあたってご了承いただきたいこと」）への同意が受講の前提となります。

【ご案内】国際物流強靱化推進研究会

JILSでは、製造業におけるロジスティクス管理者による登録制の研究会を開催しています。「国際物流強靱化推進研究会」では、各社が抱える国際物流に関する諸課題に対し、課題解決につながる情報提供や参加企業間の意見交換を通じて、個社の物流における最適化・強靱化に資することを目指します。
【情報共有(Give & Take型)の運営】

(2026年度研究会の意見交換テーマの例)

- ✓ 地政学・関税変動に備える国際物流戦略
- ✓ 配車最適化と荷待ち削減で進めるコンテナ物流DX
- ✓ 船社・フォワーダー等との航路設計に関する意見交換

2026年度 研究会開催日程 開催時間15:00~17:00

第1回	6月23日(火)	第5回	10月23日(金)	第8回	2027年 1月22日(金)
第2回	7月17日(金)	第6回	11月20日(木)	第9回	2月19日(金)
第3回	8月21日(金)	第7回	12月18日(金)	第10回	3月19日(金)
第4回	9月18日(金)	※諸事情により、内容・日時等を変更する場合があります。			

参加
募集中

【ホームページ】

<https://www1.logistics.or.jp/newest/glogiken/joinglogiken/>

※本研究会では、独占禁止法及び独占禁止法のガイドラインにて定められているところの、新製品の販売時期、商品仕様、価格、数量等の禁止事項に関する議題の設定や議論は一切行いません。



8. お問い合わせ先

詳細は当協会ホームページにてご確認ください。
受講に関する不明点等は、気軽にお問い合わせください。
メール：ilm@logistics.or.jp

【国際物流管理士資格認定講座ホームページ】



第48期 国際物流管理士 資格認定講座

「オンライン+集合」開催
※開催はオンライン演習授業+グループワークはJIS研修室(東京都港区)で行います。

開催日程

第1期定	9月9日(日)
第2期定	9月20日(水)・15日(木)・16日(金)
第3期定	10月6日(水)・7日(木)
第4期定	10月13日(水)
第5期定	10月14日(木)
第6期定	11月4日(水)・5日(木)
第7期定	11月13日(水)・14日(木)
第8期定	11月13日(水)・14日(木)
第9期定	11月13日(水)・14日(木)
第10期定	11月13日(水)・14日(木)
第11期定	11月13日(水)・14日(木)
第12期定	11月13日(水)・14日(木)
第13期定	11月13日(水)・14日(木)
第14期定	11月13日(水)・14日(木)
第15期定	11月13日(水)・14日(木)
第16期定	11月13日(水)・14日(木)
第17期定	11月13日(水)・14日(木)
第18期定	11月13日(水)・14日(木)
第19期定	11月13日(水)・14日(木)
第20期定	11月13日(水)・14日(木)
第21期定	11月13日(水)・14日(木)
第22期定	11月13日(水)・14日(木)
第23期定	11月13日(水)・14日(木)
第24期定	11月13日(水)・14日(木)
第25期定	11月13日(水)・14日(木)
第26期定	11月13日(水)・14日(木)
第27期定	11月13日(水)・14日(木)
第28期定	11月13日(水)・14日(木)
第29期定	11月13日(水)・14日(木)
第30期定	11月13日(水)・14日(木)
第31期定	11月13日(水)・14日(木)
第32期定	11月13日(水)・14日(木)
第33期定	11月13日(水)・14日(木)
第34期定	11月13日(水)・14日(木)
第35期定	11月13日(水)・14日(木)
第36期定	11月13日(水)・14日(木)
第37期定	11月13日(水)・14日(木)
第38期定	11月13日(水)・14日(木)
第39期定	11月13日(水)・14日(木)
第40期定	11月13日(水)・14日(木)
第41期定	11月13日(水)・14日(木)
第42期定	11月13日(水)・14日(木)
第43期定	11月13日(水)・14日(木)
第44期定	11月13日(水)・14日(木)
第45期定	11月13日(水)・14日(木)
第46期定	11月13日(水)・14日(木)
第47期定	11月13日(水)・14日(木)
第48期定	11月13日(水)・14日(木)

本講座ではこのような人材を育てます

- 国際物流の基盤から先端まで幅広く、海外でのマルチチームの構築・対応ができる人材
- 顧客に対して国際物流を含めた企画提案ができる人材
- 従来の海外駐在員としてグローバル視点を持ってマネジメントができる人材

ぜひ、貴社内の国際ビジネス、国際物流、SCMにかかわる部署の方々にも是非パンフレットをご送付ください

【問い合わせ先】
国際物流部：グローバル企画課、海外営業推進課、SCM課等
【教育事業部】
国際専攻課：グローバル統括部、海外イノベーション部、産学連携課等

詳細・お申込み
<https://www1.logistics.or.jp/education/ilm.html>

国際物流管理士資格認定講座

トップ > 講座・コース > 国際物流管理士資格認定講座

国際物流スペシャリストとして必要な専門知識と管理技術を総合的、体系的に学び、グローバル展開に不可欠な国際物流のスペシャリストを育成します。
最新の動向を踏まえつつ、広範な国際物流について概念から応用までわかりやすく解説し、企業事例や物流施設見学、グループ討議、ケーススタディなどを取り入れ、実務に直結するカリキュラムです。



■閉会(ご連絡事項)

- 本日のオンライン公開講義は以上で終了となります。
- JILSの各種事業へのご参加、お待ちしております。

